

議会運営委員会行政視察（概要）

1 視察日

平成30年1月18日（木）～19日（金）

2 視察項目（視察都市）

- ・議会運営の実態調査について（広島県呉市）
- ・議会運営の実態調査について（広島県廿日市市）

3 参加委員

委員長：下野 巖 副委員長：青木順子

委員：長谷川 浩、畑中 剛、米川勝利、安孫子浩子、
坂口康博、辰見 登

議長：上田嘉夫、副議長：松本泰典

4 調査概要

呉市議会では、議会改革の一環として、議場へのタブレット端末の導入や、議会図書室への司書の配置、委員会のインターネット中継の導入、本会議場での電子表決システムの導入など、さまざまな取り組みが進められ、これらの取り組みに対する検証も行われている。なお、議会図書室での取り組みは、平成28年度のマニフェスト大賞優秀成果賞を受賞されている。

廿日市市議会では、本会議の一般質問、代表質問において時間制限が設けられている。また、特別委員会を設置し、議員定数、常任委員会の数、議員報酬、政務活動費などについて市民アンケート等による検証を実施し、最終報告に基づき見直しが行われている。

なお、議場へのタブレット端末導入についても、次年度実施を検討されている。



5 委員長所感

呉市議会においては、早稲田マニフェスト研究所による議会改革調査で広島県内第1位になった精力的な議会活動と努力に共感するとともに、改革の必要性をあらためて認識した。また、議会図書室に司書を専任配置され、議員による政策提言等の一助として活用できるような体制を整えておられ、本市の議会図書室の充実についても考えさせられた。

廿日市市議会では、議場に大型スクリーン等を設置し、資料を映像化して議論に活用する取り組みや、次年度からタブレット端末等を導入予定であるなど、いち早く施策の実現に向けた取り組みにも共感を覚えた。また、議会報告会については、各地域に出向き開催されており、市民との連帯を図ろうとする議会のあり方等を学ぶことができた。これらの取り組みは、本市議会の今後の活動、施策の実現に向けた取り組みにおいて活用していきたい。